



## 普請とカフェは地域の縁をつなぐ

2018年に海南市冷水地区（以下、通称の「冷水浦」と呼称します）に空き家を普請して「チャイとコーヒーとクラフトビール」というカフェを立ち上げた大工の伊藤智寿さん。大阪から漁村に移住してきて、どんな縁をつないでいったのか、お聞きしました。

なぜ冷水浦に？

海南市は県庁所在地である和歌山市の南隣。冷水地区にはJRのくに線の冷水浦駅があり、阪和自動車道の海南インターチェンジも近く、意外と交通の便がいい地区です。過去には漁村として栄え、自然豊かな冷水浦に伊藤さんは注目しました。

漁村に関心があり、大学で漁村の研究を積んできた伊藤さん。実際に住む憧れを実現するため、業者から紹介してもらった冷水浦の空き家を購入したそうです。

普請で縁をつなぐ

伊藤さんは、普請という言葉を使います。普請とは「普く人々に請う」という意味。多くの人々に協力してもらい改築を進めていきました。



縁あるみなさんと

様々なご縁

「様々なご縁で和歌山を訪れた方々が冷水浦の普請の現場に集まってきた。地域の人も支えてくれました。」と伊藤さん。作業の半分以上は地域の人の力を借り、住民が温かく迎えてくれるという雰囲気は現実になりました。

伊藤さんは「普請」を「お金を儲けではなく、みんなの縁を繋いで暮らしを良くする営み」と強調しています。

漁村にカフェが

普請を通して縁が見えるようになり、これからも縁を繋いでいくためのカフェ「チャイとコーヒーとクラフトビール」をオープンしています。

カフェから

次のステップへ

伊藤さんは冷水浦でさらにお店を増やしていく計画です。そのひとつが手芸店。地元の高齢者が集う手芸クラブで、ニットや編み物や裁縫、ピアスアクセサリーなど「手作りの雑貨づくりにノウハウを若い世代に伝えたい」と希望している住民を伊藤さんがサポートしています。

地域のプランニングへ

伊藤さんは、将来的に普請の塾を開き、卒業した塾生が他の地域に入っていくきっかけを作っていくことを考えています。「特に、話題になっていない地域、魅力やブランド力を十分出せていない地域、ブランディングができていない地域などへ入って行ってほしい」といいます。



日常的に修繕がある風景



子育て中のママも集まるカフェ



チャイとコーヒーとクラフトビール  
海南市冷水 354  
営業やイベント等に関する情報はウェブサイトをご覧ください。  
<https://reshimizuura.jp/>

「地域の人とのご縁をつないで、これからの地域の社会や暮らしを守っていく。」「これからの地域のあり方を考えていく絶好な場が冷水浦でした」という伊藤さん。カフェがどのように進化していくか注目です。（森下和紀）

4. ご寄附いただいた方には、翌年1月頃に「寄附金受領証明書」をお送りします。確定申告により所得税等の控除が受けられます。

※ 来年の確定申告での控除の対象となるのは、今年12月末までにわかやま NPO センターに入金いただいたご寄附です。クレジットカード決済は入金まで時間がかかるため、来年の確定申告での控除をご希望の場合は、恐れ入りますが今年12月末日までに入金される銀行振り込み等の手続きをご利用ください。

5. 事業終了後、各助成先の取り組みを公開します。

### ご支援の方法

▶ 1口 3,000円から受け付けます。現金によるお支払いのほか、銀行振込（振込手数料はご負担ください）、クレジットカード決済（振込手数料はかかりません）がご利用いただけます。

▶ 次年度以降も継続してご支援いただける場合は銀行口座からの自動引落、クレジットカードからの継続決済のご利用が可能です。詳しくはお問い合わせください。

▶ 本基金へのご寄附は寄附金税制の対象となります。個人の方は確定申告により税額控除が、法人の方は損金算入限度額の引き上げが適用されます。

くわしくは専用ウェブサイトをご覧ください。クレジットカード決済によるご寄附申し込みフォームもございます（右下QRコードからアクセスできます）。

<https://congrant.com/project/wakayamanpoc/7170>

### 【運営】

認定特定非営利活動法人わかやま NPO センター  
〒640-8331 和歌山市美園町 5-6-12  
TEL 073-424-2223 FAX 073-423-8355 E-mail info@wnc.jp  
【事務所不在時、電話は和歌山県 NPO サポートセンターに転送されます】



## みなさんのご寄附が和歌山県内の環境保全に役立ちます！ わかやまSDGsパートナーシップ基金へのご寄附のお願い

### みんなの力でSDGs実現を！

国連で採択された「SDGs（持続可能な開発目標）」の達成には、世界のあらゆる国、あらゆる主体が参画することが求められています。ここ和歌山の地で、SDGs 達成に向けた取り組みを進める産・官・学・民の連携を進めるための基金「わかやま SDGs パートナーシップ基金」を運用しています。

今年度は、SDGs ゴール 14「海の豊かさを守ろう」、ゴール 15「陸の豊かさを守ろう」に向けて活動する県内の NPO・ボランティア団体を応援します。

### 事業の流れ

1. 本事業の趣旨に賛同いただいた和歌山県内外の個人・企業のみならず、1口3,000円でご寄附のご協力をお願いします。  
昨年度は70組の方から合計224,000円のご協力をいただきました。
2. 集まったご寄附の額を元に助成事業枠を設定し、支援を希望する NPO・ボランティア団体の募集を行います。  
昨年度は3万円×10団体＝合計30万円の助成枠を設定し、募集を実施。36件のご応募をいただきました。
3. わかやま NPO センターが設置する審査委員会（外部委員を含みます）による審査をおこない、支援の優先度合いが高いと判断された団体に助成を実施します。  
支援件数はご寄附の集約状況により変動しますが、今年度も3万円×10団体程度の支援を計画しています。

## 和歌山市 NPO・ボランティア推進協議会だより

### 紀の川河口周辺のまちづくりの未来

日程 12月9日(土)  
内容 午前の部…まちあるき（南海紀ノ川鉄橋、紀の川第5緑地、河西橋、有吉佐和子記念館）  
午後の部…パネルディスカッション「紀の川のかまちづくりに向けて」（和歌山市民図書館2階多目的ルーム）  
定員 午前・午後各30名（申し込み必要）  
参加費 無料  
主催 わかやま楽落会 090-9864-1344  
katoku0716@outlook.jp  
申し込みは右のQRコードからどうぞ。



### こども落語ワークショップ特別編

日程 12月9日(土) 13:30～15:00  
場所 和歌山県立図書館・文化情報センター  
内容 笑福亭呂好さんから、落語の所作・小話などを学びます  
定員 小中学生と保護者20名（定員に余裕があれば大人の参加可能）  
前日までにお申し込みください。  
参加費 資料代500円（大人のみの参加の場合は1,000円）  
主催 わかやま楽落会 090-9864-1344  
katoku0716@outlook.jp

このコーナーでは、和歌山 NPO・ボランティア推進協議会に所属している NPO・ボランティア団体から提供されたイベント等の情報を不定期にお届けしています。